



センター試験「解き方」の心構え

<最新版>

《注意》①制限時間内でのスピード ②設問形式は変わっても問われることは同じ

松江北高英語科
平成24年11月

第1問

👉 知識量に依存！出るものは決まっている！

センター試験の第1問は**発音・アクセント問題**です。ここは満点の狙える箇所です。なぜなら出る単語は決まっているからです。対策をきちんとやれば、必ず満点が取れるはず。日頃の模試やセンター試験本番で検証しておりますが、間違いありません。私の検証資料が「ダウンロードサイト」に登録してありますのでご参考にしてください。

※「センター試験の発音・アクセント問題に出題される語は決まっているのか?」『研究紀要』第45号 島根県立松江北高等学校 2011年3月

【発音問題】 頻出の綴りが存在します。母音と子音が半々出題されます。私の「英語センター試験対策本2013」(自費出版)をご覧ください。一言でいうと、「変な発音をする変なヤツ」が狙われるということです。その主なものを押さえたうえで、「発音頻出語リスト2013」を繰り返し徹底的に音読してください。それをやったうえで、山下りょうとく先生(河合塾)のホームページ(<http://ryoutoku.jimdo.com/>)にある「発音・アクセント問題演習」という練習問題をやるといいでしょう。黙字にも注意しましょう。

【アクセント問題】 アクセントの位置は語末から決まっていきます。代表的なアクセントルール「双子の法則」「三味線語ルール」「イクイクルール」「ヤンヤンヤスヤントヤリテエの法則」「渋いから痛えの法則」「子チビ母チビの法則」「グラフとグラムあぶる朝へと合図」程度は知っておいて損はありません。後は発音の時と同じで、「アクセント頻出語リスト2013」を繰り返し音読してください。品詞によってアクセントの位置が移動する語は要注意です。

ここで一つ注意を喚起しておきます。発音・アクセント問題には、日本語化した「カタカナ語」が非常によく狙われます。つい日本語式で読むと間違えるからです。「カタカナ語頻出語リスト2013」も何度も音読しておきましょう。

これだけの努力で満点をゲットできるのですが、残念ながらここまできちんとやっている生徒は少ないんです。手を抜いて軽視している受験生が多いようです。やるか、やらないか、それだけのことです。

第2問

👉 ここも知識量に依存！スピーディーに！

センター試験の第2問は、(A)文法・語法・語彙問題、(B)会話文補充問題、(C)語句整序問題の三つに分かれます。

【文法・語法・語彙問題】 とにかく演習あるのみ！最近では文法問題より語彙問題が増加しているので、解いた量がモノを言います。過去問や問題集を使ってできるだけたくさん問題にあたっておきましょう。知っていれば秒殺の問題だからです。よく狙われるという分野はあるようですが、これについては私たちの『センター試験 英語 過去問題集 TREND17 文法・語法頻出17項目の演習』(ピアソン桐原)という本が間もなく出ますのでそちらをご参照ください。私の「英語センター試験対策本2013」(自費出版)に解説された文法事項はきちんと復習しておきましょう。さらに、山下りょうとく先生のホームページにある「センター文法・語法スーパーチェック」「動詞の語法問題演習」「英文法・語法問題演習」「類義語・語義説明問題演習」というファイルをダウンロード、プリントアウトしてどんどんやってみると力がつきます。解答・解説も詳しくて丁寧です。なぜそれが正解となるのか、自分で自分に解説しながら解くと力がつきます。語彙力をひたすらつけることに努めてください。

【会話文完成問題】 「(場面の設定) ➡ ➡ (応答)」が基本パターンです。ならば、①最初のセリフで場面を頭に入れる、②空所の後のセリフを言わせるような発言を選択肢より選ぶ、③入れたものが最後の応答にスムーズにつながっていくかを検算する、この3ステップで解くといいと思います。「英語センター試験対策本2013」に出ている会話頻出表現はちゃんと覚えておくことは言うまでもありません。さらには山下りょうとく先生のHPにある「会話文問題演習」をやってみましょう。前後の「代名詞」や「Yes/Noの返答」がヒントになることが多く見られます。

【語句整序問題】 選択肢が5つになりずいぶん易しくなりました。でもまぐれで合うことはありません。1問1分で、まずは意味を頭に入れてから、私の「英語センター試験対策本2013」に挙げられた「8つの目の付け所」と「熟語の知識」を活用して、一組でも二組でもつないでしまいます(選択肢減らしの術)。そうすれば正解に一段と近づくことができます。動詞に注目することで、「小さくつないで大きくまとめる」が大原則です。語彙力、熟語・構文力、文法力を強化することです。一問は難しいのが入れていることも知っておきましょう。私の「ダウンロードサイト」には「語句整序演習問題(5択)」&「その解答」という100問が登録されていますのでご利用ください。また、山下りょうとく先生の「整序作文問題演習」をやってみるとよいでしょう。その際に、問われている**複数のポイント**を意識して練習することです。数をこなすことでコツがつかめてきますよ。

大切なことは、ここまで時間をかけずにスピーディーにサクサクと進めるということです。ここで足踏みしてしまうと、後の読解問題にしわ寄せがきて、最後までいかないことになります。

第3問

👉 ここから読解問題だ！問題文を二度読みしないよう効率的に！

センター試験の第3問は、(A)語句類推、(B)発言要約、(C)文補充、の三つで試されますが、これらはいずれも「英文の展開」を形を変えて聞いているだけです。基本展開の型は「主題文 ➡ 支持文 ➡ 結論」です。これをきちんと理解しておけば、それぞれの問題の方針が決まります。

【語句類推】 上の基本展開が分かれば、下線が引かれる部分とヒントのある箇所には大きな関係があるということも理解できますね。①下線が**最初**の場合➡最後を見る、②下線が**真ん中**の場合➡直後を見るか、最後を見る、③下線が**最後**の場合➡直前を見る、これを頭に入れて最初から最後まで普通に英文を読んでいけばいいのです。「ここら辺にヒントがありそうぞ」とあたりをつけながら読むのです。『センター試験直前演習』(ランズ)の付録に付いている小冊子が「未知語の推測」のツボをコンパクトに扱っており、参考になります。この種の問題は明治大・青山学院大・中央大・法政大・学習院大で毎年出題されていますから、過去問を利用するとよいでしょう。

【発言要約】 上の基本展開より、最初と最後に「重要な主張」が述べられることが分かりますね。言葉は違えど、言っていることは同じことです(言いたいことは一つ)。ここを見落とさずに読むことが重要です。時に中の方に主張が来る場合もありますが、「①最初と最後、②But(逆接)の後、③疑問文、④つなぎ語」に注目すれば、すんなりと筆者の主張が読み取れます。今までにやった模試の問題で確認してみてください。それからもう一つ、問題の日本語の指示文に扱う

議論のテーマがちゃんと書いてあるんです。ここをしっかりと押さえてから英文を読むようにしましょう。これは大きなヒントですよ。また主張・意見を導く特定の語にも注目しましょう（私の「対策本」p.75 参照）。

【文補充】 上の基本展開より、段落の①最初に空欄、②真ん中に空欄、③最後に空欄、の三つに分けることができそうです。①の場合は「抽象⇒具体」の原則にしたがって、直後を見れば具体的な記述のヒントがあるはず。②の場合は、空所の直前・直後をよく観察してうまくつながる選択肢を選ばよ。目の付け所は（1）冠詞（a～→the～）、（2）代名詞（the book →it）、（3）時制（過去→現在→未来）、（4）「つなぎ語」です。③の場合は、段落全体の総括・まとめとなるものを選ぶ。さらには、次の段落への「橋渡し」となっている選択肢が正解となります。この視点は重要です。やはり「つなぎ語」の知識は絶対です。私の「英語センター試験対策本2013」（自費出版）に出ているものはきちんと覚えておきましょう。山下りょうとく先生のHP「頻出論理マーカーのまとめ」も参考にしてください。この問題が結構難しく、上位と下位の成績が最も開く箇所です。「全体の流れ」と「細部」に注目です。

第4問 図表・グラフに惑わされない！ただの読解問題だ！

センター試験の第4問は**図表・グラフ・広告問題**です。数値が出てきた場合は計算を伴うことが多い。

【図表・グラフ問題】 図やグラフに惑わされてはいけません。ただの読解問題です。設問を先に読んで「探し物」を頭に入れてから本文を集中してしっかりと正確に読んでいきます。設問の**キーワード(名詞・動詞)**を頼りに本文を読んでいくのです。ただ、語彙にチョット特徴があるので（この英文が読みづらいという人の多くが語彙でつまづいています）、必須語彙はきちんと覚えるようにしましょう。私の「英語センター試験対策本2013」にまとめてあります。あるいは山下りょうとく先生のHP上にある「ビジュアル問題頻出表現のまとめ」がよいでしょう。やや**《難化傾向》**です。

【広告問題】 センター試験の第4問題Bは「**広告**」を使った問題です。この問題だけがセンター試験の中で、設問が先に来て、本文が後に、という構成になっています。つまり問題を先に読んで、「探し物」を明らかにしてから、本文のありそうな部分だけ「**資料検索**」に入ってね、というメッセージなんです。さらに、**内容一致問題**の設問中に必ず「**キーワード**」(名詞・動詞)があるので、それを基にして広告の該当箇所を「**つまみ食い**」にいきます。ヒントになるのは広告の見出しの太字部分、また広告の**タイトル**や**項目部分**です。**内容真偽問題**の場合には、それぞれの**選択肢**に含まれる**キーワード**を手がかりに正誤判定を一つ一つしていくのです。時間がかかりますから、この種の問題は難度が上がります。このような解法の基本を知らずに漫然と解いている生徒が結構いるんです。今北高の三年生には、各設問の「**迫り方**」を解説した上で、**問題演習**を行っています。これ、結構重要です。ここは満点を狙います。センター試験・模試の過去問を利用して演習をするのが一番の対策でしょう。

★広告問題の解き方★

「探し物」の確認(キーワード) ⇒ 資料情報検索(本文) ⇒ 解答(言い換え)

第5問 キーワードを頼りに本文を当たれ！

センター試験の第5問は**内容一致問題**と**ビジュアル問題**です。設問を先読みして、設問に含まれる**キーワード(名詞・動詞)**を頼りに本文の該当箇所を探ります。必ず**キーワード**か、その「**言い換え**」が出てきます。その近辺がヒントです。それと同じ内容を述べた**選択肢**が正解となります。内容一致問題の場合は、**選択肢**の一つ一つに存在する**キーワード**を手がかりに正誤判定をしていきます。これは時間がかかります。ビジュアル問題の方は本文を読む前に、何を読み取ればよいのかをイラストを見て仕込んでおきます。そして本文を読む際に、その手がかりになる箇所には**下線**を引きながら読むとよいでしょう。その手がかりを基に、正しいものを探すよりも、条件に合わないものから消していく(**消去法**)のが有効です。矛盾点の見つかったイラストを消去していけば自然に正解に行き着きますよ。ここは**新傾向問題**で、過去問が少ないので、**模試**や**問題集**を利用するとよいでしょう。2人の話の「**類似点**」と「**相違点**」を整理しながら読みましょう。

★第5問の迫り方★

設問(イラスト)の先読み ⇒ キーワードのキャッチ ⇒ 本文を読みながら該当箇所に下線
⇒ 言い換えとなる正解選択肢 ★イラストの問題は「消去法」で

第6問 1つの段落を読み終えるたびに設問を解く！ 《易化傾向》

センター試験の第6問は現在は**評論文**になっています。以前は物語文でした。設問もバリバリの**内容一致問題**で落とし穴もあって、結構難しかったものです。現在は各段落の内容をまとめる問題となり、該当箇所がすぐ特定できるので、ずいぶん易くなりました。そして最後のB問題に特徴があって、今は各段落に**タイトル**をつける問題です。問われるのは**語彙力**と**速読力**です。

まず本文を読む前に、この表の埋められた**タイトル部分**に目を通しておくとよいでしょう。おおざっぱに何が書いてあるかが分かります。このように**予備知識**を持って読むのと、**白紙状態**で読むのとでは、ずいぶん読みのスピードも正確さも違ってくるのです。さていよいよ本文を読むわけですが、この問題の大原則は「**読みながら、解きながら**」です。もちろんどんなやり方でもいいのですが、センター試験は時間の制約がありますから、できるだけ**能率よく**解きたいものです(二度読みを防止し、20分で解きたいところ)。第一段落は**文書全体のテーマ**が示されます。一つの段落を読み終わるごとに、その読み終えた段落に関する設問に答えます。また次の段落を読んで、その設問に答えていきます。こうやって「**読みながら、解きながら**」一問ずつ進めていくのです。本文を全て読んでから設問を解くのではなく、**一段落読み終わる毎に、その読み終えた段落に関する設問を解くのがコツ**です。ただここで一つ、大切なことを言います。各段落を読んだら、その**要点**を簡潔に**余白にメモ**(＝一言要約)しておくといいでしょ。これが後で**タイトルつけの問題**をやるときの、大きな**ヒント**になります。もちろん、各段落に関する設問の**正解選択肢**の内容も大きな**ヒント**です。設問の一問は**全体要旨**に関わるものです。最終段落がこれにあたります。各段落の**要点**を**キャッチ**する秘訣は、英語の論の展開を考えるとすぐわかりますね。英語は「**主題文** ⇒ **支持文** ⇒ **結論**」のように展開していきますから、段落の「**最初**」と「**最後**」を見ると、**おおざっぱな筆者の主張**がわかるはず。さらには、「①Butの後(逆接の後は重要!)、②疑問文(問題提起)、③最初と最後(主題文)」に重要な主張が来ることも知っておきましょう。先ほどの余白のメモを頼りにすれば、最後のBの**タイトルつけの問題**は楽勝でしょう。メモの内容に合う**タイトル**を選ぶだけです。

この第6問をクリアするのに必要なのは**語彙力**と**速読力**です。過去問(本試・追試)や模試の問題で練習して下さい。

★第6問の迫り方★

大原則 「読みながら、解きながら」
表の埋まっている**タイトル**を確認 ⇒ 一段落を読む ⇒ **要旨をメモ** ⇒ その段落に関する設問を解く ⇒ 一段落を読む ⇒ **要旨をメモ** ⇒ その段落に関する設問を解く…(繰り返す)…
⇒ **メモ・各設問の正解選択肢をヒントにタイトルつけ**